

第6回PD諮問委員会 議事要旨

1. 日時： 平成20年5月23日（金） 10:00 ～ 12:00
2. 場所： （社）日本非破壊検査協会 B・C 会議室
3. 議題：
 - 3.1 委員交代の件
 - 3.2 PD 資格試験機関/PD 試験センター事項（説明者：（財）電力中央研究所 PD センター）
 - 3.3 PD 認証機関事項（説明者：（社）日本非破壊検査協会 PD 認証機関）
 - 3.4 PD 研修センター事項
（説明者：（財）発電設備技術検査協会 溶接・非破壊検査技術センター PD 研修センター）
（説明者：（財）電子科学研究所 PD 研修センター）
4. 出席者（委員）
宮委員長、小林副委員長、神田委員、松本委員、三原田委員、阿久津委員（委任状）
5. 議事概要
 - 5.1 委員交代の件
宮委員長から、新委員として、原子力安全・保安院：神田委員、原子力安全基盤機構：松本委員の紹介がありこれを承認した。
 - 5.2 PD 資格試験機関/PD 試験センター事項
第4・5期PD 資格試験に関し、パワーポイントにより以下の事項についての報告があった。
 - ・新規受験者及び再試験受験者合格率
 - ・全受験者の平均誤差と RMSE の関係
 - ・再試験受験者の RMSE の関係
 - ・受験者の年齢構成
 - ・次回試験予定この報告の後、訓練センターでの訓練効果が出てきているようで、若い世代の合格者が多いことも良いことである等の意見があった。
 - 5.3 PD 認証機関事項
 - (1)PD 認証審査結果報告
PD 技術者について第5期までの新規登録者及び更新結果状況の報告があった。なお、第5期までの認証者22名のうち1名が更新手続きをしなかったことが報告された。
 - (2)PD 受験資格
PD 受験資格としての海外資格を明確にしたことが、これまでの経緯を含めて報告された。また、今回の受験資格以外の海外資格がでてきた場合には、個別審査とすることが了解された。ただし、個別審査の際には、以下の事項を考慮するようコメントがあった。
 - ・韓国の場合、自国のPD 制度があり配管についての試験体は所有しているが、容器については所有していないのでEPRI で受験をして、合格した技術者をKEPRI が認証をしている。また、ASME 規格そのものを韓国規格としている。

(3) 海外の認証規格調査報告

世界の主な NDT 要員認証・PD 認証・認証機関認定について報告がなされた。

今回の報告は、工業製品全般の非破壊検査認証についてのマップであるが、同様に原子力の分野だけのマップを作っておくことが、非破壊検査協会が今後の展開を広げる上でも重要であるとのコメントがあり、この種の情報に詳しいと考えられる認証スキーム委員会にも検討を依頼することとなった。

(4) PD 認証スキーム委員会報告

委員構成に変更があったこと、委員会の活動報告として NDIS 0603 に関する技術的質問の受付を始めたことなど、審議内容が報告された。

この報告について、今後の認証対象、認証方法について PD 認証スキーム委員会にて積極的に検討を進めて欲しいとの要請があった。

5.4 PD 研修センター事項

(財)発電設備技術検査協会 溶接・非破壊検査技術センター PD 研修センターから平成19年度PD研修センター実績の報告があった。また、(財)電子科学研究所 PD 研修センターから平成18・19・20年の研修実績の報告があった。

これらの報告の後、現在、PD 研修センターについては、発足時に、現場での審査を含む研修プログラム審査をして、研修プログラムの変更が生じた際に届け出るしくみになっているが、PD 認証機関による PD 研修センターの定期的な審査承認が必要で、PD 認証運営委員会で検討するよう要請があった。

以上